

JAMCA ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association


No.10
 1996年7月1日

 発行 全国自動車整備専門学校協会
 協会事務局 〒160 東京都新宿区大京町31
 ヴィッパ新宿御苑 ☎03-3356-7066
 編集事務局 〒125 東京都葛飾区西亀有3-28-3
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

整備のプロは模範運転者であれ

交通安全は重要な教育のひとつ

赤門自動車整備専門学校 校長 国分 活妙

手前味噌になるが先日、某ディーラーから嬉しいニュースが飛び込んできた。全国トヨペット店サービス技術コンクールのサービスエンジニア部門で、全国優勝の栄冠をかちえたとの事である。全国ブロック毎の予選を勝ち抜いてきた強豪、そして競技というプレッシャーの中での立派な成績、監督、選手共に本校の卒業生である。実社会での勤務、技術の錬磨等々に改めて教職員と共に称賛の拍手を送った次第である。

反面、入社後間もなく交通事故死などという悲しいニュースの場合もある。多くの学生は、親元を離れ仙台の地で学び、晴れて二級自動車整備士として社会に巣立ち、両親としても我が子の成長を喜び、この日を待ち望んでいた矢先……。胸中を思えば慰めの言葉も出ない。

メカニズムの展望

自動車技術の確信は、21世紀に向けて目ざましく発展し、エレクトロニクスを応用したASV(Advanced-Safety Vehicle=先進安全自動車)の開発が進められている。運転者に対する情報の授受、走行中の車両の異常状態の伝達、危険度が増したときに自動的に危険を回避、衝突時の生存空間の確保、ドライブレコーダーなど数多くの装置が考えられ、既



に実用化を目指して試作車で実験されている。また、ITS(Intelligent Transport System=高度知能化交通システム)、これは交通システムを高度に知能化し、交通事故の増加に歯止めをかけて減少させるためのものであり、その布石としてVICS(Vehicle Information Communication System=道路交通情報システム)により、既存のカーナビゲーションに、刻々と変化する道路交通情報を適時に映し出し、車両運行の効率化と交通事故減少や環境問題にも効果等が期待され、東京圏を中心に今年4月に開始された。また、DRGS(Dynamic Route Guidance System=渋滞や交通規制情報を加味して、最適経路を表示誘導するもの)も開発されている。

交通事故の現状

日本の自動車保有台数も頭打ちに

なるのでは、と言われながらも6,000万台から昨年11月までに7,000万台を突破し、その後も微増ではあるが着実に増加している。

しかし、保有台数の増加と共に、交通事故による死者数も、昭和40年から50年までの10年間に10,000人を超えるという甚だ悲しむべき状態であり、交通戦争という言葉まで飛び出してきた。

昭和51年から減少が見られたが、昭和63年から昨年までは、8年連続の10,000人を超える犠牲者が出ており、その勢いが止まっていない。特に高齢者、若年者、大学、短大、専門学校生も事故も多い。

学生の意識と事故防止

入学してくる若者の殆どが18歳から20歳までの多感な年代であり、彼らは自動車や二輪車のスタイル、運転、更にはメカニズムに強い関心と
 (2頁左上段へ続く)

CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・学校と環境変化
- 6面 協会トピック
- 7面 各校の行事紹介
- 8面 私の教授法・編集後記